

(様式第7号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和 6年 6月 5日

作成者： 首藤 道代

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的な数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
芦屋川カレッジ学友会	
事業名	日時(期間)、場所
夏休みこども水彩画教室	令和5年7月31日 芦屋市民センター
内容(実績) *実施したことを具体的に	受益者数
コロナ禍で一時中断していた夏休みこども水彩画教室が開催され学友会から3名が講師として参加し、午前と午後の2部に分かれて「ひまわり」を題材に描きました。午前は各自好きなように「ひまわり」を描いたので、個性豊かな素敵な絵になりました。午後は「3色でひまわりを描く」というむつかしいテーマでしたが、綺麗な色合いのいろいろな「ひまわり」が完成しました。参加者は芦屋市内の小学2年生から6年生 午前24人、午後22人。賑やかな1日でした。	(46) 人
	参加者数
	(46) 人
成果(社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
夏休みの1日を5つの学年の小学生が一緒になって絵を描くという体験をしたことで学校の絵の時間とは違った刺激を子供たちが感じてくれたと思います。夏休みの宿題のお手伝いに留まらず、子供たちに外の社会と接する機会を提供し興味を広げる手助けができたのなら、学友会からの講師達にとっても良い時間となりました。	
今後の展望(どのように継続、発展するか)	
昨年は応募者が121人と多数になったので、午前・午後とも3チーム×8=24人、計48人の小学生に対応しましたが今年も同程度の応募者があると思われます。学友会から派遣する講師をもう1名増やして4名とすることで4チームとなり、午前・午後で計64人まで可能となります。せっかくの機会なのでできるだけたくさんの小学生に参加していただきたいと考えます。	